

花 信

Kashin: The Shinshu University Library Bulletin

第6号 1999.9

目 次

書の散策へ …………… 1	共通教育科目「文献の収集と活用」の 支援について …………… 4
図書館の利用に関するアンケート調査 (学生用)の結果について…………… 2	お知らせ …………… 5 (平成10年度週及入力実施結果報告) (本学関係(者)著作寄贈図書)
サイエンス・ダイレクト (電子ジャーナル) トライアルについて… 4	分館の現況(医学部分館) …………… 6
信州大学授業公開に伴う 図書館見学の実施について …………… 4	附属図書館運営委員会名簿 …………… 6
大学図書館職員長期研修の講義をSCSで受講 … 4	業務日誌 …………… 7
	人事異動 …………… 8

書 の 散 策 へ

人文学部助教授 佐倉由泰

当附属図書館の資料の配架の現状に問題があることは、本『花信』前々号で、野村俊明附属図書館長が、前号で、太田克明農学部分館長が指摘されたとおりでと思います。私も改善の必要を痛感して久しく、附属図書館運営委員会委員の一人としてその責も感じています。今回は附属図書館の一利用者としての立場にも立って日頃感じていること、考えていることを述べようと思います。

良い資料がないと決めつけられがちな附属図書館ですが、当然それが皆無というわけではありません。中には日頃ほとんど顧みられることのない重要な資料もあります。たとえば『古事類苑(こじるいえん)』。それは中央図書館では第二閲覧室の百科事典が並ぶコーナーにあります(参考図書なので帯出はできません)。私は日本文学を専攻していることもあってよく閲覧しています。が、その際、偶然かとも思いますが、他に利用している人と出会ったことがありません。第二閲覧室の『古事類苑』は洋装本で全六十冊。明治期から大正期にわたる三十有余年の歳月をかけて完成を見た事典で、江戸時代までの日本の文化についての膨大な情報を含んでいます。ちなみに、「夢」とか、「牛」とか、「風」とかいった項目を実際に引いてみてください。それぞれが日本の文化といかにかかわってきたのかということが歴史的変遷とともに大づかみに理解できます。万事こんな具合です。「植物部」、「服飾部」

といった三十の部門の分類をもとに、各項目ごとに具体例としての史料が時代順に並べられています。五十音順の項目立てではなく、解説的な記述がないためにはじめはとまどいますが、その分、自在な遊び心を持って読むことができます。また、五十音順に項目を列記した索引を使えば、知りたい項目がどの部門を集めた冊の何ページから記されているかがすぐ分かります。『古事類苑』には人文科学に限らぬ幅広い研究分野にとっての有益な情報が豊富に盛り込まれています。そして、附属図書館に配架されている本の中には、『古事類苑』のように、その価値の重要性に比して顧みられることの稀な書も少なくないのです。

図書館は文化に関する情報の間を楽しく散策する場でもあります。『古事類苑』のような書も散策のコースに加えてみてはいかがでしょうか。実際の散策でかすかな土や木の香が鮮やかに感じられるように、そこでは知のありかをかき分ける嗅覚が身につくのではないかと思います。そんな中で文化の重みと深さを実感できればいいと思います。また、これを満喫できるような図書館であるべきです。そして、具体的に改善を要する点は、書をめぐる散策を通してはっきりしてくるのではないのでしょうか。豊穡であるべき風景の中に不自然に荒れ果てた一画を見出した時のように。

(さくら よしやす)

図書館の利用に関する アンケート調査(学生用)結果について

平成11年1月下旬から2月上旬にかけて行われた本アンケートは、来館学生の率直な意見をもとに図書館サービスの向上を図ることを目的としたものです。

回答総数1,051件は学生総数の約1割に当たりますので、その意味での傾向として理解できると考えます。以下に、中央図書館の結果をもとに改善の対象とすべきと思われる点を中心に概観します。

1) 資料

「図1(図書)」及び「図2(参考図書)」は「不満」「やや不満」合わせて過半数をこえ、図書資料の少なさを表わしているといえます。特に図書は、「満足」「ほぼ満足」が合わせて22%ですので、約4人に1人の満足しか提供していないことになります。これは、表1「図書館で比較的良好に利用される事項は」で一位が「資料持込み学習」となっていることと相関的といえます。さらに、新聞に対する満足度(86%)とは対照的です。

また、資料の少なさについては一昨年行われた教官へのアンケート結果でも類似の結果となっており、早急な改善が望まれるところです。

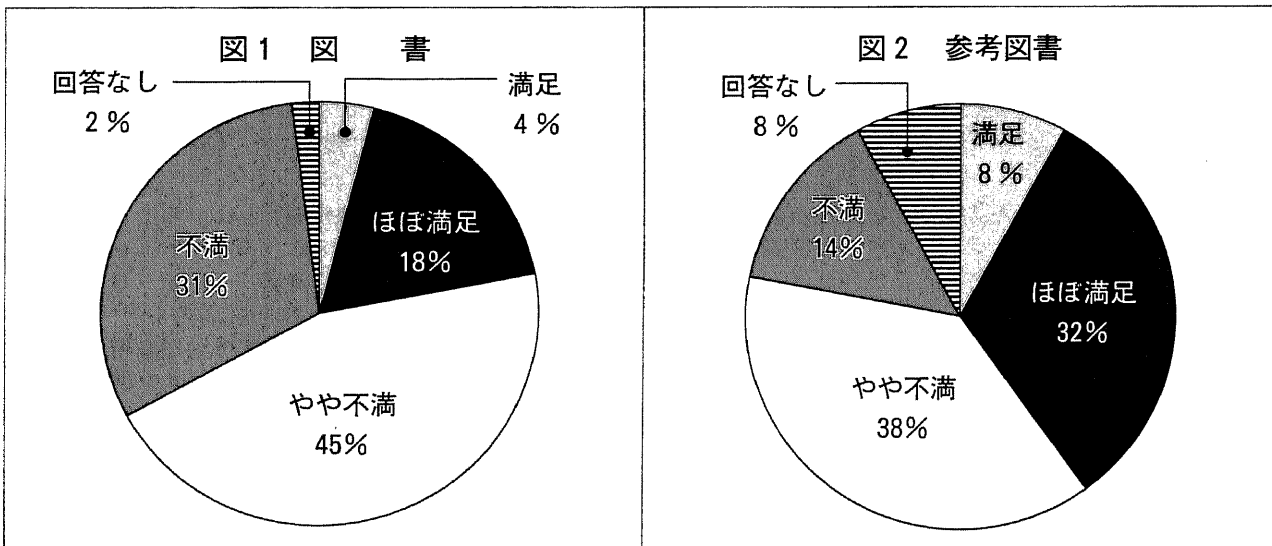
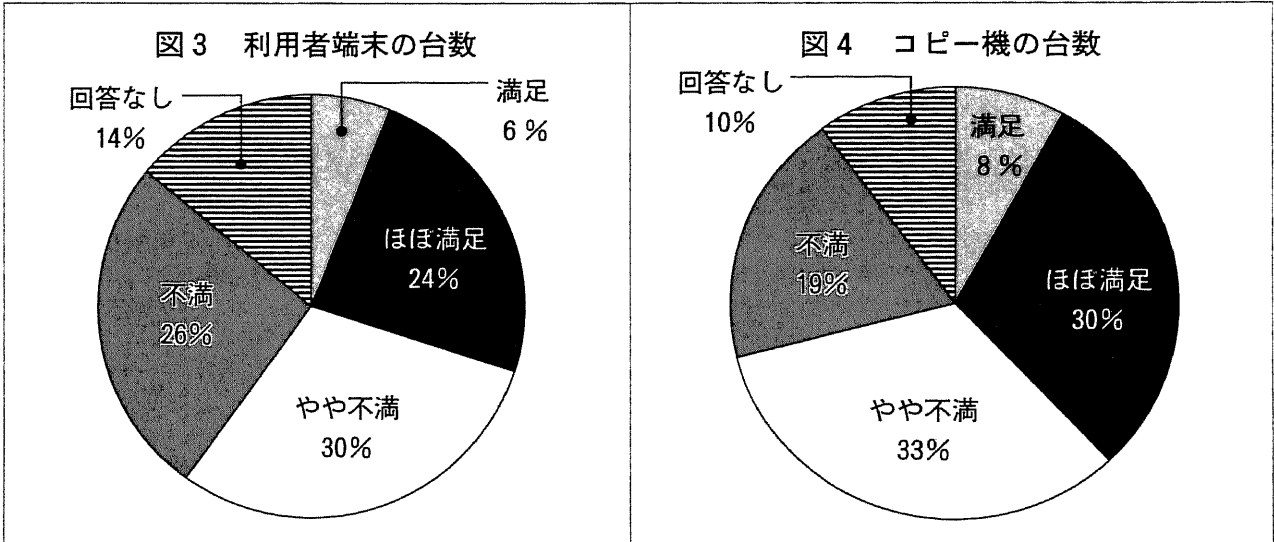


表1 図書館で比較的良好に利用する事項

図書閲覧	22.3%
図書使用	16.9
新聞雑誌閲覧	15.7
図書資料複写	4.7
相互貸借	1.0
OPAC利用	4.3
CD-ROM利用	1.2
インターネット利用	5.8
視聴覚資料利用	0.9
資料持込み学習	26.2
その他	1.0

2) 施設・設備

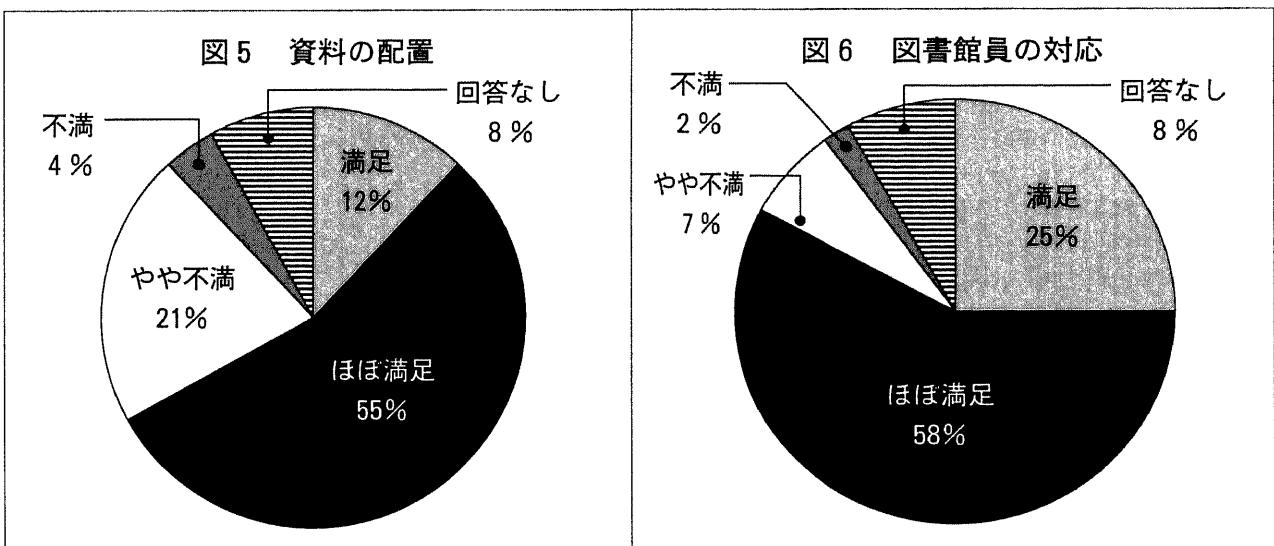
「図3(利用者端末の台数)」及び「図4(コピー機の台数)」が「不満」「やや不満」合わせて過半数をこえています。図書館における情報端末の役割の大きさを改めて実感させます。端末台数については各館室それぞれ数台増設されており、アンケート実施時点より改善されているはずですが、それでも、ピーク時には多数の待機者が出ているのが現状ですので、何らかの措置が必要と認識しています。



3) その他

「図5(資料の配置)」は「満足」「ほぼ満足」合わせて76%で意外な結果といえます。参考資料が二箇所に分かれているなど使いにくい配置になっていると思えますので、現在見直しを行っているところです。また、「図6(図書館員の対応)」は「満足」「ほぼ満足」合わせて83%の高率となりホットしているところです。しかし、今のサービス内容のままが良いとは思っておりませんので研鑽をつみたいと考えています。

この他、自由な意見として、開館時間の延長や座席数の増加を望む声等が多くあり、改善の課題は少なくないと考えています。



サイエンス・ダイレクト(電子ジャーナル) トライアルについて

本年9月中旬よりエルゼビア・サイエンス社のサイエンス・ダイレクトのトライアルを開始しました。12月31日までです。このサービスは、本学で購読している雑誌の抄録、全文の閲覧及び印刷がWebページを通して可能なもので、対象雑誌は168誌です。また、非購読雑誌(約880誌)の閲覧、印刷もできますが、論文単位で3,376件までという限定があります。雑誌の収録範囲は、生物医学関係が1996年以降、理工学関係が1997年以降となっています。

本学の構成員であれば誰でも学内の端末からアクセス可能です。

信州大学授業公開に伴う図書館見学の実施について

信州大学では、初めての試みとして、平成11年5月17日から5月21日の間、主として高校生・予備校生を対象とした授業公開を実施しました。大学進学を目指す者に信州大学と各学部の特徴等を理解するための機会を提供し、進路決定に役立ててもらうのが目的です。附属図書館の見学が授業公開の一環としてプログラムされ、開架書架・特徴的なコレクション・インターネット接続端末を中心とした館内見学を行いました。

学 部	授業受講者数	図書館見学者数	図 書 館
人文学部	108	32	中央図書館
経済学部	37		
理学部	40		
共通教育センター	60		
教育学部	173	16	教育学部分館
医学部	55	2	医学部分館
工学部	70	16	工学部分館
農学部	31	2	農学部分館
繊維学部	11	3	繊維学部分館
合 計	585	71	

大学図書館職員長期研修の講義をSCSで受講

附属図書館では、図書館情報大学で行われた平成11年度大学図書館職員長期研修の講義をスペース・コラボレーション・システム(SCS)を使って受講しました。分館を含む図書館職員の外、県内の大学、短期大学の図書館にも呼びかけた結果多くの参加者を得、盛況のうちに終了しました。講義科目、受講者数等は次のとおりです。

- 平成11年7月12日 13:30-15:00 (受講者 22名)
「大学図書館の在り方」 図書館情報大学附属図書館長 藤野 幸雄
- 平成11年7月12日 15:15-16:45 (受講者 5名)
「大学図書館の運営」 慶應義塾大学文学部教授 高山 正也
- 平成11年7月14日 13:30-16:45 (受講者 15名)
「大学図書館の建築と設備」 図書館情報大学図書館情報学部教授 植松 貞夫
- 平成11年7月16日 9:00-10:30 (受講者 14名)
「電子図書館概説」 図書館情報大学図書館情報学部教授 杵本 重雄
- 平成11年7月16日 10:45-12:15 (受講者 13名)
「保存システム」 筑波大学芸術学系教授 富江 伸治 (情報管理課)

共通教育科目「文献の収集と活用」の支援について

昨年度に引き続き、共通教育科目「文献の収集と活用」(前期)の支援に取り組みました。今年度は、授業の実習補助を中心とした昨年度のやり方を改めて、レファレンス業務のなかでの情報リテラシー教育支援という方法を取りました。授業で出された参考質問の課題を図書館内の資料を使って解決する際に、図書館はカウンターでのレファレンスを通して学生の課題解決のサポートを行うものです。レファレンス資料を介して授業と図書館カウンターとの結びつきを密にすることで、カウンター・サービスの強化にもつながるものと位置づけています。(情報サービス課)

お 知 ら せ

◆ 平成10年度遡及入力実施結果報告 ◆

	冊数	対象分野
中央館	15,753	総記:3,715、自然科学:7,933、技術:1,643、その他:2,462
教育学部分館	2,721	教育学:1,776、その他:945
医学部分館	2,960	全て自然科学
工学部分館	2,610	全て自然科学
農学部分館	1,808	自然科学:802、技術:979、その他:9
医短図書室	144	全て医学
合計	25,996	

本学関係(者)著作寄贈図書一覧

書名	発行者	出版年	寄贈者	所属
* 中央館				
慶安御触書成立試論	日本エディタースクール出版部	1999	山本英二	人文学部
ラトナチュリ初登頂報告書:1996	信州大学山岳会	1999	宮崎敏孝	農学部
信州大学・ネパール警察合同ヒマラヤ遠征隊別冊 第18回長野オリンピック冬季競技大会	信州大学学士山岳会			
医療救護資料集 1998 (日本救急医学会東海地方会誌 vol.2 Suppl.)	日本救急医学会 東海地方会	1999	奥寺 敬	医学部
住民投票	ぎょうせい	1999	沼尾史久	経済学部
講説 民法(債権各論)	不磨書房	1999	後藤泰一	経済学部
中世文芸の表現機構	榎おうふう	1998	佐倉由泰	人文学部
一労働調査者の五十年	山本 潔	1998	山本 潔	元教育学部
歌集 鯉の魚交り	みざわ短歌会	1999	手嶋竹司	名誉教授
* 教育学部分館				
地方都市における都市化と農地の転用 —長野オリンピックにともなう開発の場合—	榎第一住宅建設協会	1999	石澤 孝	教育学部
高等学校における選択制の拡大と進路指導	協同出版	1999	山崎保寿	教育学部
* 農学部分館				
回想:関川堅先生退官記念誌	関川堅先生退官記念事業会	1999	関川 堅	元農学部
Proceedings of the XV international Grassland Congress August 24-31, 1985 Kyoto	The Japanese Society of Grassland Science	1985	関川 堅	元農学部
ラトナチュリ初登頂報告書:1996年	信州大学山岳会	1999	宮崎敏孝	農学部
信州大学・ネパール警察合同ヒマラヤ遠征隊 よみがえった古民家:作品集	信州大学学士山岳会 同時代社	1999	塚田一敏	元農学部
農家の機械整備便利帳	農山漁村文化協会	1997	青木敬典	元農学部
1998年南東北・北関東の集中豪雨災害に 関する調査研究	真野 明	1999	牛山素行	元農学部
植物ホルモンを生かす 根深葉茂	農山漁村文化協会 太田保夫	1987 1999	太田保夫 太田保夫	元農学部 元農学部
太田保夫先生50年のあゆみ	太田保夫先生退職 記念会実行委員会	1999	太田保夫	元農学部
イネという作物	農山漁村文化協会	1991	太田保夫	元農学部
別冊 第18回長野オリンピック冬季競技大会	日本救急医学会	1998	奥寺 敬	医学部
医療救護資料集 1998 (日本救急医学会東海地方会誌 vol.2 Suppl.)	東海地方会			
水資源研究センター研究報告第19号 (H11.4)(京都大学防災研究所)	京都大学防災研究所 附属水資源研究センター	1999	牛山素行	元農学部
林五一の生涯	林 久子	1999	熊代克己	名誉教授

分館の現況

医学部分館

☆ パソコンで雑誌を読む～電子ジャーナルの紹介～

これまで雑誌論文を読みたいときには、図書館や購入している講座に出向いて利用するのが一般的でしたが、最近話題になっている「電子ジャーナル」は、パソコンの画面上に雑誌論文を表示して読むことができるため、たいへん便利です。

医学部分館では、以前からホームページに電子ジャーナルのページを設けています。利用できるタイトル数は82種(平成11年8月23日現在)となっており、徐々に増えつつありますのでご利用ください。

電子ジャーナルには、

- ① 無料で提供しているもの
- ② 購読者に限り無料で提供しているもの
- ③ 有料で提供しているもの

などがありますが、医学部分館ホームページから利用できる電子ジャーナルは①と②で、信州大学内から無料で利用することができます。③の有料で提供しているものでも、目次や抄録に限り無料で利用できるものが数多くあります。これらの電子ジャーナルの情報を得るためには、以前この「花信」で成田進先生からご紹介のあった北海道大学有志による電子ジャーナルのリンク集(http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online_journal/)が便利です。

また、電子ジャーナルを利用するには、あらかじめAdobe社のAcrobat Reader(<http://www.adobe.co.jp/product/acrobat/readstep.html>)をダウンロードしておく必要があります。Acrobat Readerは、多くの電子ジャーナルの配布形式であるPDFファイルを表示するときに必要なソフトで、無料で提供されています。

なお現在、医学部電子ジャーナルのページは、医学部分館ホームページへのアクセスに限り表示されるようになっています。この点につきましては、今後中央図書館の電子ジャーナルのページにデータを移行し、学内に公開するよう検討しています。

☆ 事務一元化・集中化について

(管理関係)

今年度から在松地区(医学部分館、医療短大図書室)の管理的業務(会計及び整理関係)の事務一元化が行われ、5ヶ月が過ぎようとしています。7月に3ヶ月が経過したことによる見直しが行われましたが、実施期間が短い、年度の途中ということもあり、特に問題はありませんでした。ただし、この会議での意見にもありましたが、年間をとおしての業務内容の実態が分かりませんので、一年を経過した時点での見直しには問題が出てくる可能性があります。

(サービス関係)

昨年の事務一元化・集中化の会議の中で、管理関係、サービス関係は車の両輪に例えられていましたが、医学部分館におりますと、まったくそのとおりだと実感させられています。

現在サービス関係では、事務改善実施委員会情報サービス関係WGで検討されておりますが、その一環としてサービス業務マニュアルを作成中とのことです。マニュアルはサービス業務の基本となるもので非常に重要ですが、それと共にWGで検討されている各サービスの具体的な方向性というか指針を早急に出していただければと思っております。

とりあえず、医学部分館では、この4月からカウンター業務の強化を図ること、分館PRをするための分館ニュースの発行、電子ジャーナルの充実、館内利用環境整備等を行ってきました。今後さらに、「代行検索」のPR及びサービスを含め、より一層強化していきたいと計画しています。

附属図書館運営委員会名簿

平成11年9月1日現在 ○印…収書委員

附属図書館	館長	○野村俊明	工学部	分館長	○田坂雅保
人文学部	助教授	中嶋聞多	農学部	教授	田中道彦
	助教授	○佐倉由泰		分館長	○太田克明
教育学部	分館長	○馬場将光	繊維学部	教授	柴田久夫
	教授	松岡 楽		分館長	中沢 賢
経済学部	教授	青才高志	事務局	助教授	○小西 哉
	教授	○後藤泰一		事務局長	金谷勝典
理学部	助教授	○松田智充	オブザーバー 医療短大	教授	富岡 詔子
	教授	佐藤利幸			
医学部	分館長	○村瀬澄夫			
	教授	樋口京一			

業務日誌

平成11年

- 3月23日 全学図書関係係長会議(平成10年度第3回)
- 3月30日 CD-ROMサーバ更新に伴う説明会(各館室担当職員対象)
- 4月1日 自動貸出システムテスト運用開始(中央館)
- 4月9-12日 平成11年度新入生等図書館ガイダンス実施(中央館)
- 4月12-16日 平成11年度新2年生対象図書館オリエンテーション実施(繊維学部分館)
- 4月21-23日 平成11年度図書館ガイダンス(工学部分館)
- 4月22-23日 第50回北信越地区国立大学図書館協議会(長岡技大/館長、部長、サービス課長)
- 4月27日 平成11年度第1回次期システム検討ワーキンググループ会議
- 5月10-14日 平成11年度国立学校等幹部職員研修(オリセン/サービス課長)
- 5月17-21日 平成11年度授業公開参加者のための図書館案内(全学)
- 5月20-21日 第70回日本医学図書館協会総会(福岡:医学情報係:小林)
- 5月25日 平成11年度国立大学附属図書館事務部課長会議
(東京医科歯科大/部長、管理課長、サービス課長)
- 5月26日 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(平成10年度第3回)(東大/部長)
- 5月26日 平成11年度第1回NACISIS-IR講習会(学術情報センター/工学情報係:滝口)
- 5月27日 国立大学図書館協議会理事会(平成10年度第4回)(東大/館長、部長)
- 6月2-4日 平成11年度第1回目録システム講習会(雑誌コース)
(学術情報センター/工学情報係:滝口)
- 6月3日 図書館雑誌管理システムに関する担当者説明会(各館室担当職員対象)
- 6月9-11日 平成11年度第2回目録システム講習会(図書コース)
(学術情報センター/図書情報係:大内)
- 6月10-11日 平成11年度図書館オリエンテーション実施(農学部分館)
- 6月23-24日 第46回国立大学図書館協議会総会(仙台市/館長、部長、管理課長)
- 6月29日 平成11年度新CAT/ILLシステム説明会(東京医科歯科大/資料サービス係:桃井)
- 7月12日・14日・16日 平成11年度大学図書館職員長期研修講義のSCSによる受講(学内各館室職員・
県内大学短大図書館職員)
- 7月12日 全学図書関係係長会議(平成11年度第1回)
- 7月14日 附属図書館運営委員会(平成11年度第1回 SUNS使用)
附属図書館収書委員会(平成11年度第1回 SUNS使用)
- 7月16日 平成11年度第2回次期システム検討ワーキンググループ会議
- 7月28-30日 平成11年度図書館等職員著作権実務講習会(東京大/図書情報係:伊藤)
- 7月28-30日 平成11年度第3回目録システム講習会(図書コース)
(学術情報センター/教育学情報係:阪部)
- 8月4日 工学部キャンパス見学会参加者のための図書館ガイダンス(工学部分館)
- 9月2日 松本市立旭町中学校職場体験学習のため3年生5名を受入(中央館)
- 9月3日 附属図書館防災訓練

人 事 異 動

	事 項	新 官 職 名 等	氏 名	旧 官 職 名 等
11. 4. 1	転 入	事務部長	湯 本 一 義	静岡大学附属図書館事務部長
	転 入	総務係	中 村 秀 明	医学部医事課専門職員付<外来担当>
	館内異動	図書情報係長	伊 藤 光 博	農学情報係長
	館内異動	図書情報係	大 内 佳 子	医学情報係
	館内異動	雑誌情報係	城 倉 眞 一	工学情報係
	採 用	雑誌情報係事務補佐員	坂 本 綾 子	
	館内異動	資料サービス係	丸 山 恭 子	教育学情報係
	採 用	資料サービス係事務補佐員	五百木 祐 輔	[時間外勤務]
			酒 井 寿 和	
			中 澤 仁	
			福 田 佳 江	
	転 入	学術情報係事務補佐員	青 柳 知 佳	総務部総務課文書法規係事務補佐員
	転 出	施設部企画課工事司計係主任	山 本 敏 夫	総務係主任
	転 出	上越教育大学教務部図書課 情報サービス係長	石 坂 憲 司	雑誌情報係
	転 入	教育学情報係	上 原 直 行	医療技術短期大学会計係
	転 入	教育学情報係	阪 部 浩 子	筑波大学図書館部情報サービス課 図書サービス係
	採 用	教育学情報係事務補佐員	岡 村 謙 司	[時間外勤務]
	館内異動	医学情報係	田 村 さおり	資料サービス係
	館内異動	工学情報係	瀬 尾 明 範	教育学情報係
	採 用	工学情報係事務補佐員	廣 岩 俊 幸	[時間外勤務]
			海 老 原 誠	
	辞 職		仲 谷 正 智	工学情報係事務補佐員
			武 田 健 太 郎	[時間外勤務]
館内異動	農学情報係長	塚 原 俊 敬	図書情報係長	
転 出	農学部庶務係	清 水 聖 子	農学情報係	
採 用	農学情報係事務補佐員	星 野 安 信	[時間外勤務]	
		石 川 博 信		
館内異動	医療技術短期大学部会計係	上 條 ゆり子	医学情報係	
11.4.28	職務復帰	繊維学情報係	鳴 澤 直 子	
	11.4.27限 り任期満 了により 退職		齋 藤 晶	繊維学情報係事務補佐員
11.8.31	辞 職		田 村 充	農学情報係事務補佐員 [時間外勤務]
11.9.24	採 用	農学情報係事務補佐員	熊 谷 秀 之	[時間外勤務]

花 信 第 6 号 1999年 9 月 30 日

- 編 集 花信編集委員会 (菅原英一・金井忠彦・川西玲子・丸山恭子・野口眞澄)
- 発 行 信州大学附属図書館

〒390-8621 松本市旭 3 - 1 - 1

TEL 0263 (37) 2174・FAX 0263 (33) 5833

URL: <http://shinlis2.shinshu-u.ac.jp/>

E-mail: jja.0141@gipac.shinshu-u.ac.jp